

議題（1）関連資料

川口市健康・生きがいづくり計画（第二次）掲載事業
の取組み状況について . . . 1

議題（2）関連資料

食育推進施策の取組み状況について
～ 川口市食育推進計画（第2次） 平成29年度取組み ～
. . . 13

◎ 10の取組分野

- | | | | |
|---|---|---|-----------|
| ① | が | … | がん |
| ② | 循 | … | 循環器疾患 |
| ③ | 糖 | … | 糖尿病 |
| ④ | 栄 | … | 栄養・食生活 |
| ⑤ | 身 | … | 身体活動・運動 |
| ⑥ | 休 | … | 休養・こころの健康 |
| ⑦ | 飲 | … | 飲酒 |
| ⑧ | 喫 | … | 喫煙 |
| ⑨ | 歯 | … | 歯・口腔の健康 |
| ⑩ | 生 | … | 生きがいづくり |

川口市健康・生きがづくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の方向性	実施課		
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生								
1	高齢者生きがいセミナー事業				○	○						○	公民館などの施設を会場として、生きがづくりや健康づくりに有効な学習、実習、スポーツ等の講座等を提供することにより、高齢者が自ら新たな趣味活動や生活向上のための活動を行うきっかけをつくり、生きがづくりや社会参加を推進する。	60歳以上の市民			廃止 平成28年度から新たに実施した介護予防事業へ統合した。	長寿支援課	
2	介護予防ギフトボックス事業											○	企業・団体等が会員もしくは一般向けに市内で通常実施している介護予防に資すると考えられる活動(運動や体操教室、スポーツ、サロン等)に、体験教室という形で高齢者に参加していただく。体験教室終了後も継続を希望する参加者は、その企業・団体等に加入をして活動を続けてもらう。	市内在住の65歳以上の高齢者で要支援・要介護認定を受けていない方	経費 401千円 参加者 142人 教室開催回数 31回	終了後も継続して介護予防に取り組んでいけるような意識作りに繋がった。	拡充 周知チラシの配布先拡大や実施期間及び1教室の定員を増やす等、一部見直して実施する。	長寿支援課	
3	配食サービス				○								毎日々食を配食するとともに、安否確認を行う。	食事を作ることが困難な、概ね65歳以上の単身高齢者または、虚弱な高齢者世帯	経費 72,780千円 延利用者数 7,819人 配食数 181,950食	生活する上での負担軽減、食生活の改善等により、在宅での生活を維持・継続することができた。	継続	長寿支援課	
4	生きがづくりアドバイザー派遣事業										○	○	市内10カ所の老人福祉センター(たたら荘)及び鳩ヶ谷福祉センターに、「生きがいアドバイザー(非常勤嘱託職員)」を巡回派遣し、日常生活での悩みごとの相談や各種アドバイスなどの情報提供をする。	老人福祉センター(たたら荘)及び鳩ヶ谷福祉センター利用者	経費 1,512千円 相談件数 513件 巡回相談日数 193.5日	アドバイザー事業の周知に努めることにより、健康問題や人間関係の悩みなど多くの相談を受けた。相談者からの相談内容で多いのは、健康・家族・仲間の問題で、日々の暮らしの中で、発生する諸問題だった。	継続	長寿支援課	
5	お口の健康教室(通所型介護予防事業)				○							○	○	介護予防事業対象者へ「おいしく食べて、楽しく話し、よく笑う」といった生活の質を向上させる必要性について、口腔機能の向上を中心としながら、栄養改善、運動器の機能向上等を含めた総合的な介護予防プログラムを実施している。	65歳以上の高齢者	経費 12,131千円 参加者数 292人 実施回数 216回 (1教室6回×2教室) ※市内18箇所	健康状態の改善又は維持により教室を終了される方の割合が高く、主観的健康感や基本チェックリスト等における結果も改善となる傾向となった。	継続	長寿支援課
6	健康運動教室(通所型介護予防)											○	運動器の機能向上を中心としながら、併せて口腔機能の向上、栄養改善等を含めた総合的な介護予防プログラムである。また、介護予防事業対象者自身が、日常生活上の支障等を自覚し、日常生活機能を維持・改善することの必要性を理解した上で、対象者自身による改善方法の習得と、こうした方法を生活に定着させることを目標とし、筋肉トレーニングや転倒防止、ストレッチ等を中心に実施している。	65歳以上の介護予防事業対象者(生活機能基本チェックリストを実施した結果、運動機能が低下しているおそれがあると判断したかた等)	経費 42,463千円 参加者数 1,130人 実施回数 720回 (10回×4教室) ※市内18箇所	健康状態の改善又は維持により教室を終了される方の割合が高く、主観的健康感や基本チェックリスト等における結果も改善となる傾向となった。	継続	長寿支援課	

川口市健康・生きがいづくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の方向性	実施課		
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生								
7	老人大学 (介護予防普及啓発事業)				○	○								高齢者の知識を広め、より充実した生活を送るための教養と健康及び生きがいづくりを図ることを目的として、一般教養、健康、芸能等に関する講演を実施する。(講演は2部構成で1部:介護予防に関する講演、2部:芸能等)	市内在住の60歳以上の方	経費 390千円 参加者数 324人 実施回数 1回	認知症予防や口腔ケア等、介護予防について周知を図ることができる場であるとともに、芸能等を楽しむことで参加者の心身のリフレッシュに繋がった。	継続	長寿支援課
8	運動教室事業 (介護予防普及啓発事業)					○								生活意欲を向上させ、生活機能の維持向上を図ることを目的として、膝痛対策プログラム、腰痛対策プログラム及び転倒・骨折対策プログラムの実施や、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防等の講話など、総合的な介護予防の教室を開催する。	市内在住の65歳以上の高齢者で要支援・要介護認定を受けていない方	経費 3,499千円 参加者数 241人 実施回数 96回 (8回×12箇所)	教室参加を通じて、正しい運動方法・知識の習得や、健康に対する関心が高まり、終了後も継続して介護予防に取り組んでいけるような意識作りに繋がった。	拡充 介護保険制度の改正に伴い、事業内容や実施方法等を一部見直して実施	長寿支援課
9	ウォーキング教室 (介護予防普及啓発事業)					○								生活意欲を向上させ、生活機能の維持向上を図ることを目的として、ウォーキングの効果及び効能、参加者の健康管理に関するアドバイスや姿勢、ストレッチ指導、ウォーキングに付随する健康、栄養、口腔等にまつわる基礎知識等のミニ講座など、総合的な介護予防の教室を開催する。(1教室あたりの定員は20名)	市内在住の65歳以上の高齢者で要支援・要介護認定を受けていない方	経費 972千円 参加者数 51人 実施回数 12回 (4回×3箇所)	教室参加を通じて、正しいウォーキング方法・知識の習得や、健康に対する関心が高まることで、終了後も継続して介護予防に取り組んでいけるような意識作りに繋がった。	継続	長寿支援課
10	生き生きデイサービス事業 (介護予防普及啓発事業)				○	○								生きがいや健康づくり、家庭での閉じこもり防止、及び要介護状態になることの防止等を目的として、市内たたら荘等を会場に、教養、体操等の諸活動を行う。	市内在住の概ね65歳以上の高齢者の方	経費 11,558千円 参加者数 9,398人 実施回数 396回	たたら荘の利用にあわせて本事業にも参加できるため、多くの高齢者の方に介護予防の周知を図ることが出来た。	継続	長寿支援課
11	生きがい温水プール浴教室 (介護予防普及啓発事業)					○								生活意欲を向上させ、生活機能の維持向上を図ることを目的として、水中での歩行や軽いストレッチ運動及びエクササイズ等の講座など、総合的な介護予防の教室を開催する。(1教室あたりの定員は40名)	市内在住の55歳以上の高齢者で要支援・要介護認定を受けていない方	経費 3,230千円 参加者数 184人 実施回数 50回 (10回×5箇所)	教室終了後、住民主体のプール浴クラブに加入する等、終了後も継続して介護予防に取り組んでいただける傾向にある。	継続	長寿支援課
12	高齢者元気づくり推進リーダー養成講座(地域介護予防活動支援事業)												○	介護予防を促進させ、高齢者の心身の元気づくりに有効な知識を学び、地域での高齢者への支援を実践する人材の育成を図るための講座を開催する。講座終了後は、高齢者を対象とした教室やサロン、自主グループなどの支援・指導、地域見守り協力等、地域包括支援センターの活動に介護支援ボランティアとして一緒に行っている。	40歳以上で、各地域において地域包括支援センターの活動に受講後協力いただける方	経費 12千円 参加者数 25人 実施回数 15回 (5回×3講座)	本講座終了後、地域包括支援センターと共に高齢者を対象とした教室やサロン、自主グループ支援・指導、地域見守り協力等、介護支援ボランティアとして地域活動に協力し、貢献した。	継続	長寿支援課
13	こころの健康講座						○	○						精神保健福祉に関する正しい知識及び精神障害者に対する理解を深め、早期発見、早期治療を目的に講演会を開催する。また、市内の事業所や障害者相談支援センターの活動報告も同時に実施し、地域精神保健福祉活動について学ぶことができる場を作る。	市民	経費 75千円 参加者数 216人 実施回数 3回	精神科・精神疾患に関する不安・疑問・偏見の軽減につながる機会となった。相談窓口等の周知により、精神障害者やその家族等からの相談利用のきっかけの場となった。	継続	保健センター(障害福祉課)

川口市健康・生きがづくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の 方向性	実施課	
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生							
14	精神保健福祉普及啓発運動										○	地域社会における精神保健及び精神障害者の福祉に関する理解を深めるため、国の定める「精神保健福祉普及啓発運動」の実施期間にあわせてセミナーコンサート・パネル展示などの啓発活動を行う。	市民	経費 45千円 参加者数 82人 実施回数 1回	市民や当事者の参加があり、普及啓発の場となった。また、市内障害者施設のパネル展示を行っているため、施設の周知にも効果があった。	継続	障害福祉課	
15	障害者歯科健康診査											○	市内の障害者総合支援法に基づく通所施設に通所している市内在住の障害者に対し、歯科健康診査、口腔衛生の保健指導及び保健相談、フッ化物塗布を行う。	市内の障害者総合支援法に基づく通所施設に通所している川口市在住の障害者	経費 4,048千円 参加者数 608人 実施回数 1回 実施施設数 34施設	継続して歯科健康診査を行うことで、歯の健康の意識付けに効果があった。	継続	障害福祉課
16	乳幼児のむし歯予防											○	各保育所では、年1回の歯科医師による歯科健診の実施をしており、日々の保育所生活の中でむし歯予防として、食後の口ゆすぎや歯みがき、フッ化物洗口を年齢に合わせて実施する。また、歯科医師や歯科衛生士によるむし歯予防教室、保育士による絵本・紙芝居を通して、むし歯予防や歯みがき指導を行い、歯の大切さや予防の重要性について伝えている。	公立保育所(30ヶ所)在籍児	フッ化物洗口(毎週2回) 実施保育所数 30箇所 参加児童数 1,350名 むし歯予防教室 実施保育所数 8箇所	歯科健診によるむし歯の早期発見、口ゆすぎ・歯磨き・フッ化物洗口により、日々のむし歯予防に努めることができた。また予防教室では、歯の大切さや予防の重要性について伝えることが、子どもの意識向上につながった。	継続	保育入所課
17	楽しく、おいしい給食の提供(保育所における食育の推進)											○	成長発達に必要なエネルギー及び栄養素を満たすとともに、食べる喜びや楽しさが感じられる給食を提供している。旬の食材を使用した季節感のある給食や、行事食を取り入れるなどして日本の食文化を伝えており、また、新献立を積極的に取り入れることで、子どもの食体験が広がるように工夫し、和食の推進にも力を入れている。日々の給食を生きた教材として活用し、より食に親しむ機会を提供している。	公立保育所(30ヶ所)在籍児	公立保育所(30ヶ所)の在籍児約3,000名	家庭では食べる機会が少なくなってきた日本の伝統的な食材(ひじき・おから・切干大根など)や苦手な野菜も、給食で繰り返し提供されることで食べられるようになる子どもが増えている。	継続	保育入所課
18	健康・生きがづくり通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市民の健康・生きがづくりに関する意識や関心を高めることを目的に、年1回、健康・生きがづくりに関することからテーマを決めて発行する。	市民	経費 274千円 町会回覧 年1回	町会回覧により、市全体に健康・生きがづくりに関する情報を提供することができた。	継続	保健衛生課	
19	川口健康フェスティバル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本格的な高齢社会を健康で活力あるものとしていくために、市民一人ひとりが健康のすばらしさを認識し、自分の健康は自分でつくるという自覚を持ち、健康で明るい家庭・住み良い川口をめざし、市民主役の健康づくりを実現するため、関係団体の協力により健康・生きがづくりに関する幅広い催しを実施する。	市民	経費 2,472千円 参加者数 1,707人	医療・健康講演、医師等による健康相談、各種健康体験コーナー、健康体操等多様な啓発活動により、健康・生きがづくりに関する意識の高揚が図られた。	継続	保健衛生課	

川口市健康・生きがいづくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の方向性	実施課		
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生								
20	資格取得者補助												○	健康管理士並びに健康生きがいづくりアドバイザーの資格を取得し、資格取得後に市内のボランティア活動に参加することを条件に資格取得に要した費用を補助する。(補助率 1/2、補助限度額 30,000円)	市民(健康管理士並びに健康生きがいづくりアドバイザー)の資格を取得し、市内のボランティア活動に参加する意思を有する方)	経費 141千円 補助人数 5名	ボランティア活動に意欲のある市民の健康づくりに関する学習資格補助を行い、市民の生きがいづくりの増加に効果があった。	継続	保健衛生課
21	食生活改善推進員養成講座				○	○								食生活改善や健康づくりについて、必要な知識を習得させ、地域で活動する食生活改善推進員を養成するため、医師、栄養士、運動指導士等を講師として講座を開催している。	川口市民	経費 111千円 平成28年10月5日から平成28年12月21日毎週金曜日、全9回 参加者数 25人	養成講座の実施により、新たな食生活改善推進員(ヘルスマイト)の養成を図ることができた。また受講者の健康づくりに対する意識と知識の向上につながった。	継続	保健衛生課
22	食生活改善推進員リーダー研修				○									食生活の改善と体力の増進を図り市民の健康づくりを推進するために、川口市食生活改善推進員協議会の各支部長等が管理栄養士による健康食の作り方等を学び、各支部に伝達する。	食生活改善推進員リーダー	経費 277千円 毎月第2水曜日 参加者数 384人	伝達講習等により会員の意識と知識の向上が図られ、その知識を地域住民に講習会や教室等で広めることで、市民の食を通じた健康づくりと体力の増進に成果を挙げている。	継続	保健衛生課
23	特定健康診査・特定保健指導		○	○	○	○	○	○	○					特定健康診査は、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームに着目した健康診査であり、受診者のうち、生活習慣病にかかるリスクが高いと判定された方に対し、保健師や管理栄養士等による生活習慣改善のための特定保健指導が行われる。	川口市国民健康保険に加入している40歳から74歳の方	経費 ・特定健康診査 278,679千円 ・特定保健指導 33,042千円 参加者数 ・特定健康診査 29,388人(31.3%) ・特定保健指導 42人(4.3%) 積極的支援 141人(5.5%) 動機付け支援	特定健康診査の受診率は上昇傾向にあるが、更なる受診率向上のため、未受診者への電話勧奨や治療中のデータを特定検査の受診とみなす「診療情報提供事業」の情報提供者の増加を図る。特定保健指導の実施率は上昇傾向となっているが、電話や通知で参加を促し、更なる実施率の向上を図る。	継続	国民健康保険課
24	特定保健指導以外の保健指導		○	○	○	○					○			特定健康診査の受診結果により、保健指導レベルや要医療レベルと判定されたかたのうち特定保健指導該当者以外のかたに対し、生活習慣の改善や受診勧奨の通知を行う。病気の発症予防・重症化予防を図ることで、医療費適正化を目指す。	川口市国民健康保険に加入している40歳から74歳の方	経費 208,669円 通知数 2,363通/年4回	平成27年度までは、治療中のかたへも通知していたが、平成28年度は、治療中を除いた対象者に生活改善の案内や受診勧奨の通知を送付した。通知後に医療機関に受診したかたは、10.3%おり、通知の効果が見られている。	継続	国民健康保険課

川口市健康・生きがいづくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の方向性	実施課	
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生							
25	未受診者訪問事業		○	○									特定健診の受診率は34.3%(平成27年度法定報告)であり、県内市町村平均値の37.6%を大きく下回っている。そこで、2年連続特定健診未受診者で65歳の方を対象に訪問し、受診勧奨を行うとともに未受診の理由等について聞き取り調査を行う。	特定健康診査を2年連続未受診の65歳の方	訪問・電話数 487人 在宅率 41.9% 訪問後健診受診者数 67人 訪問後健診受診率 13.8%	平成28年度より、訪問に加え、電話での受診勧奨を開始した。市内3地区のうち、訪問と電話の両方を行った戸塚地区、鳩ヶ谷地区について分析すると、訪問後の健診受診率9.7%に対し、電話後の受診率18.0%と、電話実施後の受診率のほうが高くなっている。特定健康診査未受診者に対し、電話勧奨の効果が見られた。	拡充 電話での受診勧奨数を5,000人と拡大して実施。	国民健康保険課
26	国保人間ドック検診		○	○	○	○	○	○	○				30歳以上の被保険者が人間ドック検診を受けた場合において、その検診料の一部を助成する。人間ドック検診の普及を図り、疾病の早期発見及び生活習慣病予防など、健康の保持増進に資することを目的に実施する。	30歳以上の国民健康保険被保険者	経費 244,453千円 受診者数 10,499人 受診率 8.9%	疾病の早期発見、生活習慣病予防及び被保険者の健康管理の意識を高める成果があった。	継続	国民健康保険課
27	後期高齢者健康診査事業		○	○	○	○	○	○	○				後期高齢者医療制度被保険者の健康保持や生活習慣病の早期発見を目的とし、希望者に対して身体計測・血液検査等を実施する。	市内在住の後期高齢者医療制度(埼玉県後期高齢者医療広域連合)被保険者のかた。	受診者数 100,067人	疾病の早期発見や健康状態の保持・増進に寄与することができた。	継続	高齢者保険事業室
28	人間ドック検診料助成事業		○	○	○	○	○	○	○				後期高齢者医療制度被保険者に対して、検診料の一部を助成する。人間ドック検診の普及を図り、疾病の早期発見及び健康の保持増進に資することを目的に実施する。	市内在住の後期高齢者医療制度(埼玉県後期高齢者医療広域連合)被保険者のかた。	受診者数 4,199人	疾病の早期発見や健康状態の保持・増進に寄与することができた。	継続	高齢者保険事業室
29	健康手帳交付事業		○	○	○	○	○	○	○	○	○		自らの健康管理と適切な医療の確保に資することを目的とし、各種事業において、申請に基づき希望者に健康手帳を交付する。交付時は、がん検診、健康診査及び体重・血圧等の測定結果などの記録をしたり、自己の健康管理と適切な医療に役立てられるように、手帳の使用方法を説明する。	40歳以上及び希望する市民	交付数 965件	健康相談、健康教室に参加した記録や、血圧、体重等の変化等の記録が市民の健康管理に役立てられた。	縮小 平成29年度健康手帳の交付方法のオンライン化に伴い、手帳配布は在庫のみで終了とする。	保健センター
30	巡回みんなの保健室(成人健康相談)		○	○	○	○	○	○	○	○	○		心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とし、希望する市民に対して、尿・身長・体重・体脂肪率・腹囲径・血圧・握力などの測定と、保健師・栄養士・歯科衛生士・地域包括支援センター職員などによる個別相談(健康、栄養、歯科、介護等)を実施する。	市民	参加者数 792人	心身の健康についての、身近で気軽な相談場所として利用いただいでおり、健康相談がきっかけで早めの受診に結びつくなど、ご自身及びご家族の健康管理に役立った。	継続	保健センター

川口市健康・生きがいづくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の 方向性	実施課
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生						
31	39ヘルスチェック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康チェックや健康相談により、自らの健康課題に気づき、自分に合った健康づくりができることを目的とし、尿・身長・体重・体脂肪率・腹囲径・血圧・骨密度などの測定と、むし歯菌テスト、簡易血糖検査、個別相談(健康、栄養、歯科)を実施する。	39歳以下の健康診査を受ける機会のない市民	参加者数 259人	健康診査やがん検診等は40歳から対象となることが多いが、生活習慣病予防は40歳からでは遅く、その前の年代の方が健康管理を意識する機会として意義があった。	継続	保健センター
32	健康教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康増進法に基づき、生活習慣病の予防及び介護を要する状態になることの予防、その他健康に関する事項について(生活習慣病・がん・肥満・ロコモティブシンドローム(運動器症候群)・病態別(高血圧・糖尿病等)等)の集団健康教育を実施する。また、教育局や学校保健、地域団体等からの要望により、健康教育の講師として随時出講している。なお、27年度より「健康づくり出前講座」を実施している。	おおむね40歳以上の市民	延参加者数 6,241人 開催回数 152回	正しい知識や情報の普及、生活習慣の振り返りなどにより、「自分の健康は自分でつくる」という意識と自覚を高めることができた。	継続	保健センター	
33	健康診査		○	○	○	○	○	○	○		疾病の早期発見・早期治療および健康についての認識と自覚を図ることを目的とし、委託医療機関において、血液検査、尿検査、計測等を実施する。	健康増進法施行規則第4条の2第4号に規定する40歳以上のかた(おもに生活保護受給者等)	受診者数 810人	検診を通して、自らの健康状態や正しい知識・情報を知る機会となり、疾病の予防および早期発見・早期治療、健康に対する意識の向上に繋がった。	拡充 健康の保持・増進、 疾病の早期発見・早期治療のため、多くの市民に受診していただくよう、PRを積極的に実施していく。	保健センター	
34	成人歯科保健事業									○	委託医療機関において、30歳以上の市民を対象に、歯と歯肉の状態をチェックする成人歯科健康診査と、希望者には唾液潜血検査、う食活動検査など歯科ドックを実施する。また、在宅で寝たきりの状態又はこれに準ずる状態にあるおおむね65歳以上の高齢者に対し、訪問歯科健康診査を実施する。	成人歯科健康診査:30歳以上 訪問歯科健康診査:おおむね65歳以上	成人歯科健康診査受診者数 5,450人 歯科ドック受信者数 3,390人 訪問歯科健康診査受診者数 238人	口腔の健康状態は体の健康との関連が深いため、健診を通して自らの健康状態や正しい知識・情報を知る機会となり、疾病の予防および早期発見・早期治療、健康に対する意識の向上に繋がった。	拡充 健康の保持・増進、 疾病の早期発見・早期治療のため、多くの市民に受診していただくよう、PRを積極的に実施していく。	保健センター	

川口市健康・生きがいつくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の方向性	実施課	
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生							
35	肝炎ウイルス検診	○											委託医療機関において、B型およびC型肝炎ウイルス検査を実施する。	40歳の市民及び41歳以上の未受診者	受診者数 6,610人	肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及および、早期発見・早期治療、重症化予防に繋がった。	拡充 健康の保持・増進、 疾病の早期発見・早期治療のため、多くの市民に受診していただけるよう、PRを積極的に実施していく。	保健センター
36	かかりつけ薬局強化事業			○									委託薬局にて40歳以上の市民を対象に、糖尿病簡易検査や健康に関する情報提供などを実施する。	40歳の市民		健康意識の向上につなげる。	拡充 健康の保持・増進、 疾病の早期発見・早期治療のため、多くの市民に受診していただけるよう、PRを積極的に実施していく。	保健センター
37	がん検診	○											対象年齢の市民のかたに、各種がん検診を実施する。胃がん検診は検診車により公民館等で集団検診を、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん(視触診)検診は実施医療機関で個別検診を実施する。乳がん(マンモグラフィ・視触診)は集団と個別検診を実施する。	・子宮頸がん: 20歳以上 ・乳がん(視触診): 30歳以上 ・胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん(マンモグラフィ): 40歳以上	受信者数 ・胃がん検診 2,952人 ・肺がん検診 17,845人 ・大腸がん検診 37,994人 ・子宮頸がん検診 21,440人 ・乳がん検診 12,087人	がんの早期発見・早期治療、更には受診者本人及び家族、身近なかたの健康意識の向上に繋がった。	拡充 胃内視鏡検診個別実施に向けての検討	保健センター
38	訪問指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		療養上の保健指導が必要なかたおよび家族に対し、保健師等が訪問し必要な支援を行い、心身の機能低下防止と健康の保持増進を図る。	病気等により療養上保健指導が必要なかた及び家族	延人数 23人	在宅でのよりよい療養生活に繋がった。	継続	保健センター

川口市健康・生きがいづくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の 方向性	実施課	
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生							
39	精神保健福祉事業						○						精神障害者社会復帰相談支援事業(ソーシャルクラブ)、こころの健康相談(来所相談)、家族教室(統合失調症・うつ病)、こころの健康講座、精神障害者(当事者)の会及び家族会の支援、ゲートキーパー研修、自殺予防週間(9月)・自殺対策強化月間(3月)の普及啓発キャンペーン、自殺対策庁内連絡会議の実施。	市民	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉相談延人数 821人 精神保健教室等参加者数 628人 自殺者数 98人 (埼玉県警察統計) 	精神障害者に関する知識の普及および正しい理解を深めることができた。また、精神障害者の社会復帰・社会参加の促進を支援することと家族への支援も併せて行うことで、再発予防と地域生活を送るための基盤づくりが進んだ。自殺対策緊急強化事業では、庁内の関係各課連携のもと、市民の関心を深めるための普及啓発事業を実施し、実際に相談利用につながる事例もあった。人材育成では、より実践的な内容とし、相談技術の向上に努めた。	継続	保健センター
40	乳幼児健康診査・健康相談事業				○	○				○	○	乳幼児の発育、発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見したり、適切な指導を行う。また、虫歯の予防、早期発見、治療によって幼児の歯科保健の向上を図る。発育発達が気になる児及びその保護者に対し、心理相談員などが相談に応じ保護者の不安を軽減し、育児支援をする。	・3.4か月児健康診査:3~5ヶ月の乳児 ・1歳6か月児健康診査、歯科健康診査:1歳6か月から2歳未満の幼児 ・3歳児健康診査:3歳6ヶ月から4歳未満の幼児 ・幼児相談:1歳から6歳までの幼児 ・10ヶ月児健康相談:10ヶ月になる乳児	<ul style="list-style-type: none"> 経費 101千円 参加者数 18,645人 	外国人対策としてわかりやすい通知文、健診表の作成に心がけたため、外国人の受診が増加した。子どもの精神発達等を促すとともに、保護者への相談指導を通して育児不安等の軽減を図り、家庭でも適切な対応ができるようサポートしていくことができた。健診未受診児の居所についても、関係機関と協力し、ほぼ確認できた。	継続	保健センター	
41	母子健康教室事業				○	○	○	○	○	○		乳幼児の発育、発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見したり、適切な指導を行う。また、虫歯の予防、早期発見、治療によって幼児の歯科保健の向上を図る。発育発達が気になる児及びその保護者に対し、心理相談員などが相談に応じ保護者の不安を軽減し、育児支援をする。	妊産婦及び乳幼児とその保護者	<ul style="list-style-type: none"> 経費 2,057千円 参加者数 6,318人 実施回数 148回 	丈夫な赤ちゃんを産み育てられるよう、妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及並びに精神的安定と母体の健康保持増進を図ることができた。さらに、妊娠中の歯の健康について、理解し、出産後の乳幼児や家族の歯の健康について学ぶことができた。また、乳幼児の心身の発達発育や正しい食生活習慣等について学び、育児不安の軽減を図るとともに、母親同士の情報交換の場を提供することができた。	継続	保健センター	

川口市健康・生きがいづくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績		効果	29年度の 方向性	実施課		
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生									
42	母子訪問指導事業				○		○						○	妊産婦・新生児訪問指導事業は、保健師または委託医療機関等の助産師が家庭訪問し、必要な保健指導を行う。 養育支援家庭訪問事業は、養育支援の必要性がある家庭に保健師が訪問し、必要な保健指導を行う。	妊産婦・新生児がいる家庭及び養育支援の必要性がある家庭	経費 13千円 実施回数 4,564回	新生児訪問に関しては、出生連絡票を提出された方には全員訪問指導を行うことを目指したことにより、多くの産婦・新生児に保健指導を行うことができた。また、養育支援が必要な家庭について、訪問により家庭での養育機能の向上を図り、必要時には児童相談所等と連携しケースカンファレンスを実施するなど、関係機関とも情報を共有し、継続的支援を実施していくことができた。	継続	保健センター	
43	歯の健康フェスティバル	○			○								○	○	歯科保健知識の普及啓発を目的にブラッシング指導、アトラクション、フッ化物体験コーナー、8020コーナー、小中学校児童生徒の図画ポスター、標語の展示をし、優秀作品を表彰、小学生による学校保健活動の発表、口腔がん検診を実施する。	川口市民	来場者数 1,065人 栄養相談参加者数 100人	糖分が及ぼすむし歯のリスクについて理解を得た。乳幼児期・学童期・思春期・成人期・高齢期にいたる全ての年齢で、う蝕や歯周病の予防、口腔機能の維持を目的とした、口腔保健の普及啓発が出来た。	継続	保健センター
44	路上喫煙禁止地区巡回パトロール												○	「川口市路上喫煙の防止等に関する条例」に基づき、市内のうち特に川口・西川口・東川口各駅の周辺を路上喫煙禁止地区に指定し、係員によるパトロールを実施し、違反者への注意、指導を行っている。また、例年12月には、禁止地区の駅頭で「路上喫煙防止キャンペーン」を行い広く周知、啓発する活動にも取り組んでいる。	市民	委託料 9,039千円 指導人数 4,665人	禁止地区内に喫煙所を設け、パトロールによる注意指導を行った結果、喫煙所内での喫煙が浸透し路上喫煙者が減少するとともに、吸殻の散乱も目立たなくなった。	継続	廃棄物対策課	
45	川口市生活フェスティバル				○									一般市民を対象に、消費者が自主性をもって健全な消費生活を営むために、商品及び役務並びにこれらの取引行為に関する知識の普及及び情報の提供を目的とし開催している。	一般市民	経費 1,201千円 参加者数 7,483人	体験ブース、展示パネルやパンフレット等の啓発活動により、消費者が消費生活に関する必要な知識を習得するとともに、消費生活において自主的かつ合理的に行動することができるように支援することができた。また、多様な団体が集まることで、効果的なPR活動ができた。	継続	経済総務課	
46	川口市人材バンク魅学												○	市民が公民館等の各種講座で身につけた知識や技術を人材バンクに登録し、市民の個人や団体・サークル等の学習活動の求めに応じて、その知識や技術を提供する。	市内在住、在勤の個人及び川口市に存する団体	登録者数 210人 参加者数 延べ 2,291人 実施件数 45件	事業の活動を通して、指導者及び学習者のお互いの生きがいづくりに繋がった。	継続	生涯学習課	
47	健康づくり週間												○	健康に関する学習機会を提供し、健康に対する正しい知識の普及と啓発を図ることから、市民の健康づくりを促進し、心身の健康保持及び健康増進に努める。	市内在住、在勤、在学の方			廃止	生涯学習課	

川口市健康・生きがいつくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の 方向性	実施課
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生						
48	公民館講座											○ 趣味講座など、「生きがいつくり」につながるさまざまな講座を実施する。	市内在住・在勤・在学の方	経費 10,015千円 参加者数 延べ 30,188人 実施回数 延べ 241講座 1,456回	地域ごとに住民ニーズを把握した上での実施により、受講者を満足させることが出来た。	継続	生涯学習課
49	中央ふれあい館講座											○ 勤労青少年や一般の方を対象に「生きがいつくり」につながるさまざまな講座を実施する。	市内在住・在勤・在学の方	経費 316千円 参加者数 延べ 1,088人 実施回数 10講座 82回	囲基などの講座による受講者同士、親子パン作りで親子の交流が図られた。	継続	生涯学習課
50	婦人会館講座											○ 成人女性などを対象に、「生きがいつくり」につながるさまざまな講座を実施する。	市内在住・在勤・在学の方	経費 232千円 参加者数 延べ 684人 実施回数 7講座 24回	親子向けの講座に力を入れ、参加者親子の絆を深めることができた。	継続	生涯学習課
51	青少年会館講座											○ 青少年などを対象に、「生きがいつくり」につながるさまざまな講座を実施する。	市内在住・在勤・在学の方	経費 134千円 参加者数 延べ 377人 実施回数 3講座 18回	親子向けの講座に力を入れたため、参加者親子の絆を深めることができた。	休止 改築工事のため休館中。	生涯学習課
52	川口市民大学講座											○ 「歴史・文学・芸術コース」、「情報コース」、「公開講座」、「我がまち川口・再発見コース」、「自然科学コース」、「生涯学習推進講座」「現代的課題コース」「公民館等開催講座」を毎年開催し、専門性の高い多様な学習機会を提供する。	川口市在住・在勤・在学の18歳以上の女性	経費 1,924千円 参加者数 延べ1,476人 実施回数 10講座 37回	市民の生きがいつくり、自己実現に寄与した。	継続	生涯学習課
53	生涯学習情報誌みらい											○ 社会教育施設等で開催する講座や活動団体、及び人材バンク「魅学(みがく)」登録者情報等の情報提供を行う。	一般男女	市内の社会教育施設、科学館、図書館、支所、駅前行政センター、駅連絡室、市政情報コーナー、リア等で設置・配布。	社会教育施設等における生涯学習情報を提供することにより、講座等への参加を促した。	継続	生涯学習課
54	公民館報の発行											○ 公民館で実施する講座や、公民館で活動するサークルについての情報等を提供している。	公民館利用者	月1回33公民館で配付	利用者に健康や生きがいつくりに関する講座情報を提供することにより、参加者数の増加に繋がった。	継続	生涯学習課

川口市健康・生きがいづくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の 方向性	実施課	
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生							
55	スポーツ教室					○							ピラティス教室、水泳教室、ストレッチ教室等、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層で募集をし、無理のないカリキュラムを組んでいるので、初心者の方や向上心のある方が気軽に参加できる教室となっている。外部講師において実施していることで、資格者が的確に指導することができるのと同時に、スポーツの楽しさや、世代間交流及び健康増進への意欲向上に貢献している。	参加者	経費 1,079千円 参加者数 1,677人 実施回数 104回	参加者の年齢も幅広く、健康の増進、体力の向上への意識が高まった。	継続	スポーツ課
56	スポーツ推進委員の育成・活用					○							地域のスポーツ振興を図り、各種大会運営の充実に向け、スポーツ推進委員の育成・活用を図る。	川口市スポーツ推進委員	経費 12,389千円 委員数 298人 実施回数 17回	市内各地区のスポーツレクリエーションの推進のため、市民に対し指導助言を行い、社会体育の発展に寄与した。	継続	スポーツ課
57	きらり川口ツデーマーチ					○							順位や記録を争う競技大会ではなく、自分の心や体の健康づくり、多くの歩く仲間とふれあいや親睦を深める場として、ウォーカーが自由に楽しくマイペースで歩く大会として開催する。	参加者	経費 4,050千円 参加者数 2,998人	歩くことで、健康意識が高まった。	継続	スポーツ課
58	駅伝競技大会等					○							川口市スポーツ少年団は、様々な競技種目を団ごと熱心に取り組んでおり、種目をこえて交流が図れるように、駅伝大会、ドッジボール大会を行っている。	スポーツ少年団員及び市内小学生	経費 1,477千円 参加者数 1,700人 実施回数 2回	種目の枠をこえて、団員相互の交流を図ることができ、さらに体力の向上を図ることができた。	継続	スポーツ課
59	学校体育大会等					○							学校体育の振興を図り、児童生徒の体力を向上させるとともにスポーツ精神を涵養することを目的として、学校総合体育大会、通信陸上競技大会、中学・高校水泳記録会、小学校水泳記録大会、市民体育祭、駅伝競走大会、スポーツ交歓大会などの様々な大会を開催する。	市内小学生・中学生・高校生	経費 2,943千円 参加者数 5,506人 実施回数 7回	スポーツ教室・各種大会等、多くのスポーツの機会を与えたことにより、小学校から高校までの競技の継続性と、県大会・関東大会・全国大会に多くの選手が出場した。	継続	スポーツ課
60	市民体育祭中央大会					○							レクリエーション協会が主管する市民体育祭を開催する。(3種目競技・・・卓球・婦人バレーボール・壮年ソフトボール大会) 各町会単位で編成されたチームで、4地区のブロック大会(予選大会)を開催し、上位2チームが出場する。	市民	経費 1,538千円 参加者数 500人	広く市民にスポーツレクリエーションを奨励し、健康の増進を図ると共に市民相互のふれあいの場を提供した。	継続	スポーツ課
61	体育館等の貸し出し					○							市立小・中・高等学校のある地域を中心に活動するスポーツ少年団等の団体へ市立学校体育館の貸し出しを行い、身体活動の推進に寄与する。	地域住民・地域スポーツ団体		地域のかたがたの健康増進に寄与した。	継続	学務課

川口市健康・生きがいづくり計画(第二次)掲載事業

No.	事業名	分野										事業概要	対象者	平成28年度実績	効果	29年度の 方向性	実施課		
		が	循	糖	栄	身	休	飲	喫	菌	生								
62	飲酒防止教育										○			小学校6学年時、中学校3学年時に、それぞれ保健学習において飲酒と健康の関係について学習する。小・中学校では年に1回以上、「薬物乱用防止教室(喫煙・飲酒含む)」を実施して理解を深める。平成26年度から「ライフスキル教育」を小・中学校の教育課程に位置づけ、自尊感情を高め、危険行動にはしらない児童生徒の育成を図る。	市内小・中学生	参加者数 約4万4千人 実施回数 市内全小中学校で年間1回以上実施。	保健学習においては、飲酒が体に及ぼす影響について様々な資料を活用しながら、学習をすることができているので理解を深めることができた。 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教室では、外部講師による具体的な事例を交えた説明により、飲酒が体に及ぼす影響について理解を深めることができた。 ライフスキル教育に取り組むことで、自尊感情の高まりが見られた。	継続	指導課
63	喫煙防止教育										○			小学校6学年時、中学校3学年時に、それぞれ保健学習において飲酒と健康の関係について学習する。小・中学校では年に1回以上、「薬物乱用防止教室(喫煙・飲酒含む)」を実施して理解を深める。平成26年度から「ライフスキル教育」を小・中学校の教育課程に位置づけ、自尊感情を高め、危険行動にはしらない児童生徒の育成を図る。	市内小・中学生	参加者数 約4万4千人 実施回数 市内全小中学校で年間1回以上実施。	保健学習においては、喫煙が体に及ぼす影響について様々な資料を活用しながら、学習をすることができているので理解を深めることができた。 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教室では、外部講師による具体的な事例を交えた説明により、喫煙が体に及ぼす影響について理解を深めることができた。 ライフスキル教育に取り組むことで、自尊感情の高まりが見られた。	継続	指導課
64	歯科保健指導の充実											○		歯科医師会監修のもと、口腔衛生に関する指導資料の冊子を作成し、各学校の授業等において活用することで、歯科保健活動の充実を図る。口腔衛生の正しい知識を持たせ、自分の健康は自分で守る意欲を身に付けさせるように児童生徒を育成する。	市立小中学校 児童・生徒	経費 542千円 配布数 10,036冊 配布回数 1回	むし歯の早期発見や歯磨きの習慣を身に付け、自分の歯や口腔を大切にすることを意識の向上に役立てることができた。	継続	学校保健課
65	小児生活習慣病 予防健診			○	○									肥満度が高い児童生徒に対し、血液検査、身体測定、血圧測定を行い、児童生徒が将来生活習慣病になることを予防し、生涯にわたり健康な生活を送ることができるようにする。	肥満度30%以上の児童生徒(小学4年生・中学1年生)のうち受診希望者	経費 726千円 受診者数/対象者数 小4 112人/197人 中1 53人/226人 計 165人/423人	定期健康診断の結果、前年度と比較して、肥満度が高く本事業の対象となる児童生徒の割合に大きな変動はなかった。対して対象者の受診率が低下しているため、継続して将来の生活習慣病予防に取り組んでいく。	継続	学校保健課
66	給食だより等の発行											○		児童生徒に対し、学校給食を基にした食事や食品、栄養等に関する通信を発行する。また、保護者に対し、児童生徒が喫食している学校給食の献立や食品、栄養価(エネルギー、たんぱく質)等記載の献立表を発行する。	市立小・中学校の児童生徒とその保護者	発行回数 年度11回	児童生徒・保護者に、学校給食への関心を高めてもらい、食育の推進に寄与することができた。	継続	学校保健課

平成29年度実施予定事業（目標別）

No.	事業名	該当する目標	事業内容	対象者	効果	平成28年度の方向性	実施課
1	配食サービス	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	食事を作ることが困難な高齢者に、高齢者向けの夕食を宅配するとともに、安否の確認を行う。	概ね65歳以上の単身高齢者、または虚弱な高齢者世帯	生活する上での負担軽減、食生活の改善等により在宅での生活を維持・継続することができる。	継続	長寿支援課
2	お口の健康教室 （通所型介護予防事業）	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	おいしく食べて、楽しく話し、よく笑うなどといった生活の質の向上を図るため、口腔機能の向上、栄養状態及び運動機能等の改善を指導していく。	65歳以上の高齢者	口腔機能の重要性と介護予防の意識向上が期待される。	継続	長寿支援課
3	老人大学 （介護予防普及啓発事業）	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	市内在住の60歳以上の方を対象に高齢者の知識を広め、より充実した生活を送るための教養と健康及び生きがいを図ることを目的として、一般教養、健康、芸能等に関する講演を実施する。	市内在住の60歳以上の方	口腔や栄養改善等をテーマにした場合においては、それらの重要性を普及・啓発する効果が期待できる。	継続	長寿支援課
4	楽しく、おいしい給食の提供 （保育所における食育の推進）	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	乳幼児期に必要なエネルギーや栄養素を満たし、成長・発達に寄与できる献立を作成し、旬の食材や行事食を取り入れバラエティ豊かな手作りの給食を提供していく。また、日々の給食を生きた教材として活用し、より食に親しむ機会を提供していく。	公立保育所（30ヶ所） 在籍児	子どもの食体験の幅が広がり、食への興味・関心が高まることが期待される。	継続	保育入所課
5	家庭配布用献立表の作成 （保育所における食育の推進）	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	家庭配布用の献立表は、献立名その他、使用食材や栄養価を記載し、情報の提供を行っている。特に使用食材については、主に含まれる栄養素によって3群に分類して記載し、それぞれの体内での働きなどが分かるよう献立表を通し、バランスよく食べることの大切さも周知できるように作成していく。	公立保育所（30ヶ所） 在籍児とその保護者	給食が家庭での食育推進の一環となることが期待される。	継続	保育入所課
6	健康・生きがいをづくり通信	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	市民の健康・生きがいをづくりに関する意識や関心を高めることを目的に、年1回テーマを決めて発行する。	市民	市民の健康・生きがいをづくりに関する意識や関心を高める。	継続	保健衛生課

平成29年度実施予定事業（目標別）

No.	事業名	該当する目標	事業内容	対象者	効果	平成28年度の方向性	実施課
7	川口健康フェスティバル	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	健康フェスティバル実行委員会において、健康意識の高揚、健康づくりの啓発・普及を図るため、各種健康体験コーナーを開設する中で、食を通じた健康づくりの啓発を行う。	市民	健康食試食を通じ、市民の健康づくりに関する意識や関心を高める。	継続	保健衛生課
8	食生活改善推進員リーダー研修	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	食生活の改善と体力の増進を図り市民の健康づくりを推進するために、川口市食生活改善推進員協議会の各支部長等が管理栄養士による健康食の作り方等を学び、各支部に伝達を行う。	食生活改善推進員	会員の知識の向上、地域住民の食への意識・知識の向上が期待される。	継続	保健衛生課
9	食育に関する情報の発信	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	平成29年3月に策定した川口市食育推進計画（第2次）の概要、取り組み、各種献立等を川口市ホームページに掲載し、随時、情報を提供する。	市民	食を通じて、市民の食育に関する意識や関心を高める。	継続	保健衛生課
10	特定健康診査 特定保健指導	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	特定健康診査は、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームに着目した健康診査であり、受診者のうち、生活習慣病にかかるリスクが高いと判定された方に対し、保健師や管理栄養士等による生活習慣改善のための特定保健指導を行う。	川口市国民健康保険に加入している40歳から74歳の方	特定健康診査・特定保健指導を行うことで、生活改善ができ、生活習慣病の発症を抑制する。	継続	国民健康保険課
11	後期高齢者健康診査事業	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	後期高齢者医療制度加入者の健康保持や生活習慣病の早期発見を目的とし、希望者に対して身体測定・血液検査を実施する。	市内在住の後期高齢者医療制度（埼玉県後期高齢者医療広域連合）被保険者のかた。	自分自身の健康状態を認識できる機会をつくることで、日頃の生活習慣等を見直すきっかけとして期待できる。	継続	高齢者保険事業室
12	巡回みんなの保健室 （成人健康相談）	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	40歳以上の市民を対象に、保健センター・公民館等で検尿、血圧測定、体重・体脂肪・腹囲測定、健康相談、栄養相談、歯科相談、介護相談を実施する。	市民	相談を通して、自らの健康や家族の健康課題に気づき、自分や家族に合った健康づくりの情報が得られるようになる。	継続	保健センター

平成29年度実施予定事業（目標別）

No.	事業名	該当する目標	事業内容	対象者	効果	平成28年度の方向性	実施課
13	39ヘルスチェック	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	健康診査を受ける機会のない39歳以下の市民を対象に、健康チェックや健康相談を行う。	市民	相談を通して、自らの健康や家族の健康課題に気づき、自分や家族に合った健康づくりの情報が得られるようになる。	継続	保健センター
14	健康教育	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	生活習慣病の予防及び介護を要する状態になることの予防、その他健康に関する事項についての集団健康教育を実施する。また、教育局や学校保健、地域団体等からの要望により、健康教育の講師として出講する。	おおむね40歳以上の市民	教室参加を通して、食事についての望ましい習慣を学び、食を楽しむことや適切な栄養管理に関する知識を学び、ご自身やご家族の健康管理に役立てるようにしていく。	継続	保健センター
15	成人歯科保健事業	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	30歳以上の市民を対象に、歯と歯肉の状況をチェックする成人歯科健康診査、また希望者に唾液潜血検査、う蝕活動検査など歯科ドックを実施する。 在宅で寝たきりの状態又はこれに準じる状態にあるおおむね65歳以上の高齢者に対し、訪問歯科健康診査を実施する。	・ 歯科健康診査・歯科ドック：30歳以上の市民 ・ 訪問歯科健康診査：おおむね65歳以上	規則正しい食生活を身につけ実践することで、適正体重を意識し、疾病等の予防に役立てるようにしていく。	継続	保健センター
16	乳幼児健康診査・健康相談事業	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	乳幼児の発育発達を明らかにし、疾病を早期に発見し、適切な指導を行う。 虫歯の予防、早期発見により幼児の歯科保健の向上を図る。	・ 3.4か月児健康診査：3～5ヶ月の乳児 ・ 1歳6か月児健康診査、歯科健康診査：1歳6か月から2歳未満の幼児 ・ 3歳児健康診査：3歳6ヶ月から4歳未満の幼児 ・ 幼児相談：1歳から6歳までの幼児 ・ 10ヶ月児健康相談：10ヶ月になる乳児	乳幼児の発育、発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見したり、適切な指導を行う。また、虫歯の予防、早期発見、治療によって幼児の歯科保健の向上を図る。発育発達が気になる児及びその保護者に対し、心理相談員などが相談に応じ保護者の不安を軽減し、育児支援をする。	継続	保健センター

平成29年度実施予定事業（目標別）

No.	事業名	該当する目標	事業内容	対象者	効果	平成28年度 の方向性	実施課
17	ウエルカムBaby教室	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	医師・保健師・栄養士による妊娠・分娩経過の流れや赤ちゃんの育て方、妊娠期や授乳期の栄養などについての講義と沐浴実習、妊娠疑似体験を実施。また、バランスの良い食事例のフードモデルの展示を行う。	妊娠4～8か月の妊婦とその夫	娠期の望ましい食事や気をつけたい食品や栄養素について知識を習得し、出産後、授乳期後や、家族の健康のために望ましい食事バランスの基本を学習できる。	継続	保健センター
18	歯の健康フェスティバル	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	う蝕や歯周病予防、口腔機能の維持向上の啓発、普及を図るため、栄養コーナーを設け、相談や糖分に関するフードモデルの展示を行う。	市民	歯科保健に関心を持つようになり、う蝕や歯周病の予防、口腔機能の維持を意識するようになる。	継続	保健センター
19	おとなの食育講座	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	栄養管理の知識の普及、正しい食の情報提供を目的に栄養士等が生活習慣病予防の講義とバランス食の調理実習を行いく。	おおむね40歳以上の市民	教室参加を通して、食事についての望ましい習慣を学び、食を楽しむことや適切な栄養管理に関する知識を学び、ご自身やご家族の健康管理に役立てるようにしていく。	継続	保健センター
20	離乳食講習会	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	離乳食の試食、デモンストレーションを行い、フードモデル、食品、食器具の展示をする。	生後3～5か月の乳児とその保護者	離乳開始するにあたり離乳食野の知識を普及し、乳児の心身の健全な発達を促し、保護者の育児不安の解消を図る。	継続	保健センター
21	幼児食講習会	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	幼児期の食事の講義、試食や、献立例のフードモデル、市販のお菓子の糖分、塩分、油分の含有量の展示を行う。	1歳から1歳6か月の幼児とその保護者	離乳完了期に必要な栄養の知識を普及し、幼児の心身の健全な発達を促し、保護者の育児不安の解消を図る。	継続	保健センター
22	食育教室	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	食べ物に関心を持たせ、食に対する興味を深くし、かつ子どもが健やかに育つように食を通じた教育を行う。	就学前年度の5、6歳児とその保護者	親子で食育体験や調理実習することにより、食べ物に対する興味を持てる。	継続	保健センター

平成29年度実施予定事業（目標別）

No.	事業名	該当する目標	事業内容	対象者	効果	平成28年度の方向性	実施課
23	学校訪問	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	主に特別活動・家庭科等を中心に、教科・領域においての授業を参観し、学校における『食に関する指導』の推進について指導及び助言を行い、各学校で共通理解を図り、児童生徒への食に対する関心を高め、望ましい食習慣を形成する態度を養う。	市内小学校14校、中学校7校	児童生徒が健全な食生活を実践し、健康で豊かな人間性を育んでいけるよう栄養や食事のとり方などについて、正しい知識に基づいて自ら判断し、実践していく能力などを身に付ける。	継続	学校保健課
24	歯科保健指導の充実	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	各学校における歯みがき指導の徹底と充実を目的とし、川口歯科医師会監修のもと、口腔衛生に関する指導資料冊子を作成し、各学校の授業等において活用することで、歯科保健活動の充実を図る。	川口市立小中学校児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいブラッシングの仕方や歯みがきの習慣が定着する。 ・むし歯や歯周疾患に関する知識が身につくことで、むし歯の予防や早期発見・早期治療につなげられる。 ・自分の歯や口腔衛生に関する意識が向上し、口腔衛生の保持が図られる。 	継続	学校保健課
25	小児生活習慣病予防検診	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	児童生徒の将来的な生活習慣病罹患を予防し、生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう、肥満度が高い児童生徒に対し血液検査、血圧測定、身体測定を実施する。判定結果に応じて、受診勧告や、食生活、運動等について保健指導を行う。	肥満度30%以上の児童生徒（小学4年生・中学1年生）のうち受診希望者	児童生徒の食生活や生活習慣の見直し。	継続	学校保健課
26	給食だより等の発行	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	学校・家庭との食育の連携を図るため、学校給食を基にした食事や食品、栄養等に関する通信を毎月1回（8月を除く）発行する。	市立小・中学校の児童生徒とその保護者	学校・家庭との食育の橋渡しとしての役割を担い、児童生徒及び保護者の学校給食への関心を高めるきっかけとなる。	継続	学校保健課
27	食に関する指導推進研修	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	川口市内の学校において、『食に関する指導』を積極的に推進している学校・給食センターの取組を発表し、各学校のより一層の『食に関する指導』の推進を図る。	市内小・中学校教職員 県陽高等学校教職員 学校給食センター栄養士	各学校の食指導担当者に対する『食に関する指導』の推進。	継続	学校保健課

平成29年度実施予定事業（目標別）

No.	事業名	該当する目標	事業内容	対象者	効果	平成28年度の方向性	実施課
28	給食主任会	1 学んで実践！ 私に合った健康な食生活	「川口市学校給食の概要」「学校における『食に関する指導』の推進」の内容を中心に、学校給食の運営と事務手続き等を周知するとともに、学校における『食に関する指導』の推進を啓発し、給食主任の役割について周知徹底している。	市内小学・中学校給食主任	給食・食に関する指導の推進について共通理解・共通行動がとれるようになる。	継続	学校保健課
29	ひらがな献立表の作成 （保育所における食育の推進）	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	主に5歳児を対象に、子ども向けのイラストをカラーで記載し、目で見ても楽しめる献立表として作成することで、子どもの給食に対する興味・関心を高める。	公立保育所（30ヶ所） 5歳児	食への興味・関心が高まることが期待される。	継続	保育入所課
30	食育だよりの作成 （保育所における食育の推進）	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	食に関する情報、給食献立や旬の食材の紹介、人気献立のレシピなどを盛り込んだ「食育だよりの」を作成し、配布する。	公立保育所（30ヶ所） 在籍児とその保護者	家庭での食育推進の一環となることが期待される。	継続	保育入所課
31	食の体験活動 （保育所における食育の推進）	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	園庭での野菜や果物の栽培・収穫を通して、食への興味・関心を高める。栽培したものは実際に調理して食べることで、育てる喜びと食べる幸せが感じられるようになり、育てて収穫し、食べるという一連の流れを体験することで、豊かな心を育てる。	公立保育所（30ヶ所） 在籍児	食べ物を大切にする心が育ち、育てることや食べることへの興味・関心が高まることが期待される。	継続	保育入所課
32	食物アレルギーへの対応 （保育所における食育の推進）	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	医師の所見に基づく代替食や除去食の提供を基本とし、食物アレルギーの原因食品を使用しない献立の研究を行う。なお、食物アレルギー対応マニュアルを必要に応じて見直し、時代のニーズに沿った改訂も随時検討していく。	公立保育所（30ヶ所） 在籍児とその保護者	食物アレルギーへの理解が進むことが期待される。	継続	保育入所課

平成29年度実施予定事業（目標別）

No.	事業名	該当する目標	事業内容	対象者	効果	平成28年度の方向性	実施課
33	食育の巡回指導 （保育所における食育の推進）	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	栄養士が巡回し、食育指導を行う。	公立保育所（30ヶ所） 5歳児	食への興味・関心が高まることが期待される。	継続	保育入所課
34	給食の展示食 （保育所における食育の推進）	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	保育所で提供した給食・おやつの展示食を行い、保護者に保育所での提供量や料理の組み合わせを参考にしてもらうとともに、子どもとの会話のきっかけにもなるようにしていく。	公立保育所（30ヶ所） 在籍児とその保護者	家族での食に関する話題の糸口となり、家庭での食育推進の一環となることが期待される。	継続	保育入所課
35	給食を通じた食育指導 （保育所における食育の推進）	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	当日の給食の献立や使用食材に関する情報を子ども向けにまとめた「給食一口メモ」を作成し、保育士から伝えてもらい、日々の給食に関心を持たせることで、食への興味を高める。	公立保育所（30ヶ所） 在籍児	繰り返して食の話題を取り入れることで、食への興味・関心が高まることが期待される。	継続	保育入所課
36	食育ポスターの掲示 （保育所における食育の推進）	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	食育ポスターを毎月作成し、保育所で掲示する。保護者への情報提供の他、親子で楽しめるクイズなども掲載し、家庭での食育につながるようにしていく。	公立保育所（30ヶ所） 在籍児とその保護者	家庭での食育推進の一環となることが期待される。	継続	保育入所課
37	食の安全に関する情報提供	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	ホームページの「食の安全・安心情報」により食の安全について情報提供を行っていく。	川口市民	食中毒事件の発生や菌・ウイルスの特徴の周知することにより、市民の食の安全に関する意識を高めることが期待される。	継続	保健衛生課
38	エコライフDAY	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	6月の環境月間「エコライフDAY」に「食」に関する項目をのせ、食生活においてできるエコな取り組みを呼びかけていく。	市民	多くの市民に対して日常生活における温室効果ガス排出量削減の意識啓発を行うことができると思われる。	継続	地球温暖化対策室
39	「食品ロス」に関する意識開発	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	様々な機会を捉え、食品ロスに関する啓発を行います。	市民	家庭及び事業所から排出される食品ロスの軽減	継続	廃棄物対策課

平成29年度実施予定事業（目標別）

No.	事業名	該当する目標	事業内容	対象者	効果	平成28年度の方向性	実施課
40	農業体験事業	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	農作業の一部を実体験することにより市民の農に対する理解促進を図ることを目的に、農作物の収穫体験を行う。	市内在住の親子（幼児から小学6年生までとその保護者）	都市住民の生活に潤いを与えるとともに、都市部における農業への理解促進が期待できる。	継続	農政課
41	公民館講座 中央ふれあい館講座 婦人会館講座	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	各種講座の中で、親子料理教室、子ども料理教室、男性料理教室、生活習慣病予防教室、季節の料理教室等を行う。	市内在住・在勤・在学の方	市民の食に対する知的欲求を満たし、関心の高まりに寄与する。	継続	生涯学習課 (公民館等)
42	学校ファーム推進事業	2 食を知り 食を楽しみ 温もりある心を育みます	児童生徒が農業体験活動を通して、命や環境、食物などに対する理解を深めるとともに、情操を養い生きる力を身につけることを目的とし実施する。	市内児童生徒		継続	指導課
43	行事食の提供 (保育所における食育の推進)	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	伝統的な日本の食文化について理解・関心を高めるため、献立に行事食を取り入れる。行事食を提供する際には「給食一口メモ」や「食育だより」でもその由来を説明し、意味を知って食べることで、より行事食への理解を深める。	公立保育所（30ヶ所） 在籍児	伝統的な食文化についての興味・関心が高まることが期待される。	継続	保育入所課
44	食生活改善推進員養成講座	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	食生活改善や健康づくりについて、必要な知識を習得し、地域で活動する食生活改善推進員を養成するため、医師・栄養士等を講師として講座を開催する。	川口市民	高い知識を有した食生活改善推進員（ヘルスマイト）を養成することで、地域の食生活の改善が期待される。	継続	保健衛生課
45	川口市の郷土食等に関する 情報提供	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	ホームページ等で川口市の郷土食や食に関する取り組みについて情報提供を行う。	川口市民	川口市独自の食文化や食資源について学び、郷土食の文化継承に繋がる。	継続	保健衛生課

平成29年度実施予定事業（目標別）

No.	事業名	該当する目標	事業内容	対象者	効果	平成28年度の方向性	実施課
46	川口生活フェスティバル	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	消費生活に関する啓発の一つとして、地産地消のPRを行っており、川口市食生活改善推進員協議会が地元で採れた「枝豆」を使った「枝豆ご飯」の試食を配布し、お米を使った料理五品程度の展示とレシピの配布など、食生活の改善につながるよう啓発に努めている。	市民	地域の食文化や食資源について学ぶことで、各家庭の食生活に取り入れられることが期待される。	継続	産業労働政策課
47	市役所マルシェの開催	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	市役所本庁舎1階ロビー及び市役所別館前通路で毎月1回開催し、地場産の新鮮野菜、鉢花、加工品等の宣伝及び販売をする。	市民・来庁者	市内で生産された特産物等の消費拡大及び農業関係者と市民の交流が深まることで、地場産業の振興と緑化産業の活性化が期待できる。	継続	農政課
48	学校給食における行事食・郷土食の提供	3 川口の食文化 知ろう 創ろう つなげよう	学校給食において行事食・郷土食を取り入れ伝統的な日本の食文化や地域の食文化を紹介する。	市内小中学校の児童生徒	地域の産物（地場産物）を使用した郷土料理や行事食といった特別な給食を通して地域や食への興味、関心、理解を深め、失われつつある日本古来の伝統文化や季節の節目、食の大切さなどを学び、次の世代に受け継いでいくことに繋がる。	継続	学校保健課